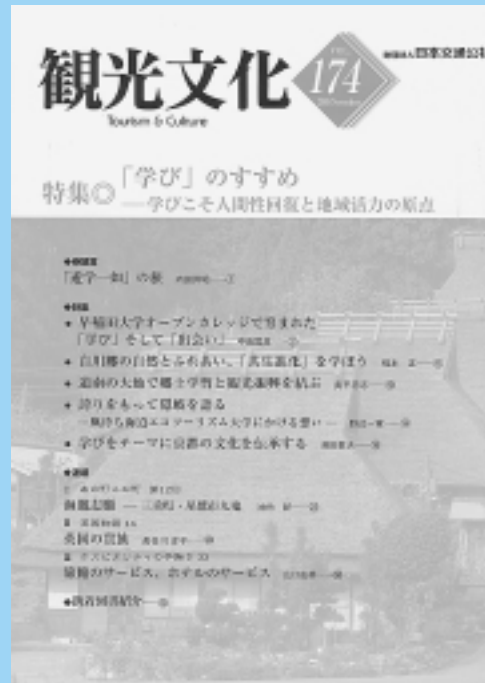


観光文化

旅や観光の文化に関する当財団の機関誌。年6回奇数月の20日発行。

時代の動き、社会のニーズの把握に努め、情報提供・提言並びに意見・研究発表など、メッセージの発信を編集方針としている。毎号特集を組み、第一線で活躍されている研究者、実践者の方にご登壇いただいている。他に連載も組み、幅広く「観光文化」に光をあてている。

●B5判 32頁



■発行人

萩本健二

■編集人

外川宇八

■第169号(2005年1月20日発行)

特集：深まる日韓交流 —その背景・意義と将来展望

- 深めよう文化交流 —日韓関係は東北アジアの要／林 哲
- 朝鮮通信使とその旅／仲尾 宏
- 「韓流」に見る韓国インバウンド戦略／島川 崇
- 「ハングルは、オットセヨ？」／金 裕鴻

■第170号(2005年3月20日発行)

特集：歌舞伎の魅力 —400年の歴史を生きる伝統文化の世界

- 世界の中の歌舞伎／河竹登志夫
- 国立劇場と歌舞伎／織田紘一
- 歌舞伎座の一世紀／岡崎哲也
- 「四国ごんびら歌舞伎大芝居」復活物語—金丸座復興と新しい挑戦／近兼孝休
- 地域に支えられる「小鹿野歌舞伎」—かけがえのない財産、地芝居の保存と活用／山本正実

■第171号(2005年5月20日発行)

特集：都市と路地 —人はなぜ路地に惹かれるか

- 路地の魅力 —法善寺横丁復興支援の経験から／橋爪紳也
- 路地、この愛おしくかけがいのないもの／井上明久
- 「坂の路地」が育んだ尾道の文化／森重彰文
- 向島の路地の再生 —豊かな生活空間をいかに残すか／小川 幸男

■第172号(2005年7月20日発行)

特集：ジャパニーズクール —日本のポップカルチャーの可能性や如何に

- 世界に躍進する日本発ポップカルチャー／中村 伊知哉
- 世界の巡礼者が集う、日本ポップカルチャー・ファンの聖地「アキハバラ」／小野打 恵
- フランスに広まるジャパニメーションとマンガ／鳥海利香
- エンターテインメント商品と観光振興／樋口利恵

■第173号(2005年9月20日発行)

特集：道路と観光 —今、道路に期待されること

- 国土と道路、観光・文化・景観／野村和正
- 動き始めたシーニックバイウェイ北海道の現状と今後の展開／和泉晶裕
- 道の駅とみうら「枇杷倶楽部」を語る／加藤文男
- 新たな北海道観光スタイル確立に向けて —外国人観光客のレンタカー観光実証実験・調査と将来展望／久保田 貴宏

■第174号(2005年11月20日発行)

特集：「学び」のすすめ —学びこそ人間性回復と地域活力の原点

- 早稲田大学オープンカレッジで育まれた「学び」そして「出会い」／中島国彦
- 白川郷の自然とふれあい、「共生進化」を学ぼう／稲本 正
- 道南の大地で郷土学習と観光振興を結び／奥平忠志
- 誇りをもって隠岐を語る —風待ち海道エコツーリズム大学にかける想い／野辺一寛
- 学びをテーマに京都の文化を伝承する／滑田教夫

■頒布料

1,470円(税込)